

## ●大学史料館を訪ねて（5）

# 同志社社史資料室・Neesima Room

---

鈴木秀幸

京都の街はわかりやすい。それは計画的につくられた平安京の伝統が生かされているからである。その中でも同志社大学はとくにわかりやすい。JR京都駅から地下鉄に乗り換え、まっすぐ、わずか三つ目の駅「今出川」で下車すれば、そこは同志社大学のキャンパスである。

往々にしてわかりやすい所というのは市街の冷たいコンクリートの群れの中などにあり、風情の無い景觀が想像されるが、同志社大学の場合はそうではない。正門向かいに京都御所、裏手には相国寺をひかえている。

そして、キャンパスの中に歩を進めるとゆとりのある



写真1 啓明館（2000年8月22日）

空間に安堵を感じる。現在の校地（今出川キャンパス）は校舎建設以来、移転していないこと、さらには開学期の校舎を保存し、リニューアルして使っていることをうかがえば、納得出来るよう。

その同志社大学は一八七五（明治八）年一月二九日に同志社英学校として開校した。初代社長、つまり創立者は新島襄である。しかし、その船出は前途多難であった。例えば翌年九月には相国寺門前東側に一軒の民家を借用している。構内では聖書の講義が認められていないからである。一八七八（同一）年の一月と一二月には外国人教師の雇用を申請したが、京都府より却下された。それどころか、翌年には外国人教師が授業中、聖書を講じたために始末書をとられた。こうした迫害を乗り越えて、新島没後のことではあるが、一九一二（明治四五）年四月、専門学校令下の同志社大学となった。新島の「人民に抛って設立し」、「自治自立の人民を養成する」学校は大学としてスタートしたのである。

一九九九（平成一一）年一〇月現在、キャンパスは今出川と京田辺の二つで、その校舎面積は約二二五万平方

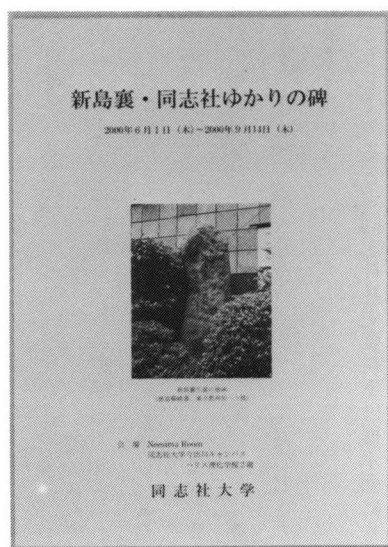


写真2 最近の企画展示パンフレット

メートルである。学部は神学部、文学部、法学部、経済学部、商学部、工学部と六学部があり、約二万三、〇〇〇人の学生が学んでいる。それ以外にも大学院（院生約二、一〇〇人）や研究所・センターを有している。

その研究所のひとつに人文科学研究所がある。位置は正門近くの啓明館の一角である（写真1）。同研究所は一九四四（昭和一九）年、同志社大学研究所として発足した学際的な共同研究機関である。この研究所に同志社社史資料室がある。以前は社史史料編集所として法人部

門に属し、名物の時計塔（クラーク記念館）にあったが、百年史編纂事業を終えた後、一九九五（平成七）年の学内機構改革により、今日のようになった。

同資料室には第一部門研究会（新島研究・研究員四五人―一九九九年）と第二部門研究会（資料の整理・評価・研究・同一三人―同）が設けられている。しかし、単に学術研究センターとしてあるだけではなく、業務は資料や図書の収集・整理・保存、それらの貸出、刊行物の編集・出版、講演会の開催等々多面にわたっている。

その展示場は一八九〇（明治二三）年にアメリカの実業家ハリスの寄付によって竣工した欧風の建築物であるハリス理化学館（今出川キャンパス）の二階にあり、Mesima Room とハリス理化学記念展示室と称している。前者が主たる展示場であり、二室からなっている。ここでは年間に三回の企画展示が行なわれる。ちなみに一九九九年度の場合は「明治期の同志社」（四月～七月）、「新島襄と関西」（七月～一〇月）、「熊本バンドの人たち」（十一月～二〇〇〇年四月）である。写真2は二〇〇〇年六月から九月まで開催された「新島襄・同志社ゆか

りの碑」展の際に作成・配布されたものであり、展示品名と新島襄の年譜が一二頁にわたって記されている。また後者は理化学関係の教材・教具を展示するところであるが、初期の同志社大学における理化学教育の実態を直に知ることができる。それ以外にも特別展も催される。

また展覧会は学外でも開催している。最近では「新島襄のスケッチと書」展を京都丸善にて一〇月二日～八日まで行なっている。

こうしてみると、同志社社史資料室は展示面にもかなり力を注いでいることが分かる。そのことが確実に年三回も出来るのは『同志社大学百年史』およびその後の編纂の業績に基づくことはいうまでもない。さらに資料や図書の保存体制が整備されていることにもよっている。とくに収蔵庫は特別に仕様されていること、あるいは資料のデジタル化が進められていること等々は範とすべきである。またこうした展示の際には講演会を催している。一九九九年度はつごう六回にのぼっている。

同志社大学の展示は百年史編纂以来の蓄積と普段の地道な史料収集・整備・保存と多くの人々による研究活動

の三分野と連動しており、それぞれの成果によっていえる。展示は単に展示活動だけでは成り立たないことを教えられる。

#### 同志社社史資料室

〒602-8580

京都市上京区今出川通烏丸東入ル

電話 075-251-3042

地下鉄「今出川」駅から徒歩三分

開館 平日（月～金曜日）

9時30分～17時00分

土曜日

9時30分～12時00分

日曜日

10時00分～17時00分

無料